



大阪成蹊大学

CAREER DESIGN PROGRAM 2022

産官学連携学修事例集

Contents

01

産官学連携に対する考え方

02

大学紹介

03

事例紹介

- ・ ヤンマー HD との PBL 『大阪農業をもっと元気にしよう』
- ・ 産官学連携による大阪（もん）農林水産物を活用した商品開発
- ・ 自治体との連携による公共経営に関する PBL 型授業の実施
- ・ 摂津市広報誌記事『消防・救急活動』作成を通じた若い世代への啓発活動
- ・ ウォーキングフットボールの普及案
- ・ 三田市観光協会連携授業 Research&Presentation2
- ・ 小学生高学年や高齢者が楽しみながら学べ、繰り返し使える SDGs 学習教材とその教材の宣伝 / プロモーションを考える
- ・ 真庭市産木材を用いた椅子のデザイン開発
- ・ 島本町 Buy Local Map& 商品デザイン提案
- ・ アートプロデュース
- ・ popteen 発のアイドル PureGi 衣装制作
- ・ 川西市の水（災害用備蓄水）デザイン

04

実績一覧

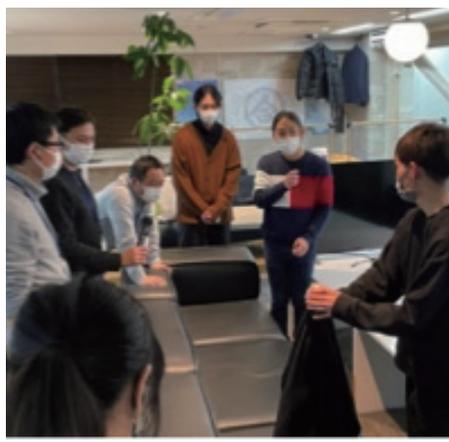
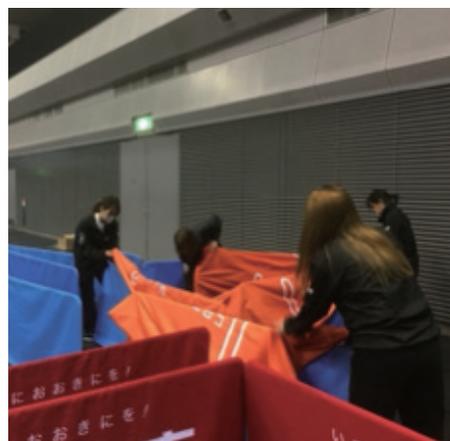
大阪成蹊学園 産官学連携の考え方

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学には、建学の精神「桃李不言下自成蹊」、また、建学の精神を実現するにあたって、「口忠恕」（孔子『論語』より）の心の行動指針を掲げ、学部・学科においてそれぞれに専門的な学びを展開し、広く社会で活躍できる「人間力」を備えた人材を育成をすることを教育目的としています。

その行動指針のもと、本学における産官学連携は、学部・学科ごとの専門に応じた実社会の問題をテーマとした課題解決型学修や地域社会との協働を通じて、学生が能動的に学修に参加し、「課題発見力」「企画・立案力」「行動・実践力」「完遂力」「情報伝達力」「集団連携力」など、学修した専門性を社会の中で実践するための能力を身につけることを目的とします。

産官学連携による学外連携学修は、単に知識や経験の享受にとどまらず相互協力により進めるものとし、学生の能力の向上に加え、地域・社会貢献、学外との関係強化へと展開し、地域社会の持続的な発展に貢献することをめざします。

本学は、地域社会に開かれた大学、社会に貢献できる大学づくりをまぎして、産官学連携の窓口として産官学連携センターを設置し、地域、産業界、行政基幹と連携した産官学連携を推進します。



学部・学科・専攻・コース 『学びのインデックス』

学部・学科

コース・内容

経営学部	経営学科	経営コース	商品開発やマーケティング、経営戦略などを学び、あらゆる企業や組織で必要とされる、ビジネスの知識とマネジメントの能力を身につけます。
		公共政策コース	地域や社会の課題を解決するさまざまなフィールドワークを通じてこれからの国や自治体、公共性の高い企業・自治体などが求める「経営的な視点で政策形成ができる人材」をめざします。
		食ビジネスコース	経営学、食物学、情報学の3領域からなる文理融合の学びにより、あらゆる食関連の分野でマネジメント力を発揮して活躍できる人材をめざします。
スポーツ マネジメント学科	スポーツ マネジメントコース	スポーツ関連企業やスポーツクラブ、イベント実行組織における経営や企画、管理、運営を学び、スポーツ産業の成長と課題の解決に貢献できる人材をめざします。	
国際観光学部	国際観光学科	国際ビジネスコース 国際観光コース 国際まちづくりコース	国際的な視点に立ちながら、新しい観光政策・地域振興・次世代観光経営や国際社会におけるグローバルな事業展開を実現できる観光人材・グローバル人材をめざします。
教育学部	教育学科 中等教育専攻	英語教育コース	中学校・高等学校における英語教育の改革に対応できる英語力と指導力、外国人とのコミュニケーション能力や国際理解など、グローバル社会に必要な力を備えた英語教員をめざします。
		保健体育教育コース	運動や健康、安全についての正しい理解に基づく保健体育授業での指導力、運動を通じたコミュニケーション能力や他者理解など、健康社会や豊かなスポーツライフの実現に必要な力を備えた保健体育教員をめざします。
	教育学科 初等教育専攻	初等教育コース	小学校の教育内容に即した教育理論と実践的な指導法を学び、学校体験活動や実習を通じて「現場で適応する指導力」を磨きます。
		幼児教育コース	多彩な講義や実技演習、豊富な自習を通じて、幼児教育・保育を学術的に学ぶとともに、教員・保育士として専門的な力量を身につけます。
芸術学部	造形芸術学科	マンガ・デジタルアートコース	マンガ、イラスト、ゲーム、SNSなど、業界の第一線で活躍するプロのクリエイターが直接指導し、マンガ・イラスト制作のノウハウを学びます。
		アニメーション・キャラクターデザインコース	アニメーション、キャラクターデザイン、CG、フィギュア、実写映像、アプリゲームなど、幅広いジャンルの表現方法を学び、多彩に活躍できる力を養います。
		ゲーム・アプリケーションコース	ビデオゲーム・アプリゲーム業界への就職を前提とした基礎、応用、上級のゲームグラフィックス作成プロセスを学びます。プロジェクトワークに必要な人間力もあわせて養います。
		バーチャルメディア・ボイスクリエイターコース	撮影・編集・配信に必要なスキル、企画力や発想力、また声優としてのテクニックや表現力を身につけ、さまざまな企画をプロデュースして世界へ発信するクリエイターをめざします。
		グラフィックデザインコース	コンピュータ、写真、印刷、色彩などグラフィックデザインの基礎から広告、ブランディングやWeb・UI/UXまでトータルに学び、デザイン業界のプロフェッショナルをめざします。
		イラストレーション・美術コース	すべての表現のもととなる「絵を描く力」「造形を創る力」をアナログと最新デジタル技術の双方で修得。それらを基盤に、イラストレーションやアート分野での仕事を意識して「生かす力」を実践的に身につけます。
		ファッション・コスチュームデザインコース	ファッション業界の仕組みや流通・品質管理などの基礎知識から、トレンドを予測し、アイデアをカタチにする斬新なデザイン・パターンメイキング・縫製・テキスタイルデザインまで、ファッション・コスチュームデザインに必要なことを幅広く学びます。
インテリア・プロダクトデザインコース	雑貨やアクセサリ、家具から住まいまで、思い描いたアイデアをカタチにする技術を学び、快適な生活をデザインするプロフェッショナルをめざします。		
データサイエンス学部	データサイエンス学科	データサイエンス学科	多彩なプロジェクト型学修を通じて、データ分析して有利な知見を見つけ、人や社会に新しい価値を生み出すための知識・スキルを備えたデータサイエンス人材を育成します。
看護学部	看護学科	看護学科	講義や学内外での実習経験を重ね、高い専門性と人間力、多彩な医療のニーズに応えることができる課題解決力を磨きます。人々の健康を支え地域医療を担える人材を目指します。

ヤンマー HDとのPBL『大阪農業をもっと元気にしよう』



✓ 概要

学部 学科 コース | 経営学部 経営学科 食ビジネスコース

授業名 | 食ビジネス入門

担当教員 | 高畑 能久

人数 | 23名 5班編成

学年 | 1年生のみ

学外連携学修の目的・目標 |

PBL 課題「大阪の農業をもっと元気にしよう！」に取り組み、学生がグループワークで大阪農業の課題を見出し、解決策を企画して提案する。実践的な産官学連携授業を通して、企画力、提案力やプレゼンテーションスキルなどを総合的に修得させる。

目標を達成するための事前・事後学修 |

事前 大阪農業の現状に関する調査および、連携先企業について研究

事後 青果物のポートフォリオ化（企画書、パワーポイント資料）

✓ 資料 (上図)特別授業 / (下図)学外授業

特別授業とヤンマーファームでの農業体験を通じて理解を深めた後、学生がグループワークを行い、先行事例の調査、KJ法によるアイデア出し等を経て、大阪農業をもっと元気にするオリジナル企画を作成し、PBL 成果発表会でパワーポイントを使って熱のこもったプレゼンテーションを実施した。

✓ 内容 学生がグループワークで試行錯誤しながらオリジナル企画を考案し、成果発表します。

01 ヤンマー HD の講師による特別授業 (PBL 課題の提示)

06 中間発表会と質疑応答

02 ヤンマーファームで農業体験

07 成果発表会でのプレゼンテーション準備

03 大阪農業の課題を見出す

08 成果発表用パワーポイント・発表原稿の作成、発表練習

04 学生らしいユニークなアイデアによる解決策の検討 (KJ法、ブレインストーミングなど)

09 成果発表会および、連携先からの総評

05 グループワークによる企画書の作成

10 グループ毎に振り返り

PBL 成果発表会〈班 / 企画名〉 |

1班「気軽に大阪産(もん)を知ろう」 2班「生産者と消費者をつなげよう～大阪産(もん)～」 3班「大阪産(もん)野菜をもっと身近に!!!」

4班「大阪産(もん)天下の甘味処～野菜ジェラート化計画～」 5班「大阪産(もん)野菜を身近に感じよう!!!」

✓ 成果

学修の成果 |

- 学生たちが大阪農業の現状と課題などについて体験学習することができた
- グループワークに取り組み、責任感や協働することの大切さを学ぶことができたこと
- PBL 授業により企画力、提案力やプレゼンテーションスキルを向上することができたこと

学生へのフィードバック |

総評として、「限られた時間のなかで先行事例を調査したうえ、ユニークな企画を提案できていたが、次のステップとして、顧客の数、選ばれる理由、存在を認知させる、良さを伝える、価格を適正にすることが重要であり、STP や 4P の考え方も重要である」などのコメントをいただいた

産官学連携による大阪産(もん)等を使った商品開発



✓ 概要

学部 学科 コース | 経営学部 経営学科 食ビジネスコース

授業名 | 専門演習 3・4

担当教員 | 高畑 能久

人数 | 12名

学年 | 3年生のみ

学外連携学修の目的・目標 |

学生が産官学連携による大阪産による(もん)等を使った商品企画を提案し、商品化を目指す。自ら連携先を巻き込んで商品開発を実施することで、専門知識をはじめ企画力、対人間関係力、プロセス管理やプレゼンテーションスキルなどを総合的に習得させる。

目標を達成するための事前・事後学修 |

事前 商品開発の一連のプロセスを学び、連携先企業について研究

事後 成果物のポートフォリオ化(新商品、オリジナル POP、SNS 等)

✓ 資料 (上図)共同開発した新商品 / (中図)テスト販売

学生が大阪府、大手企業と連携して大阪産(もん)等を使った商品開発に挑戦した。先行事例と市場調査、商品企画の作成、試作、パッケージ、POPの制作等に取り組み、商品化(計5アイテム)に成功した。

また、今回の成果を企画本部よりプレリリースして頂くことで、Yahoo!ニュース・日経新聞・TVをはじめ各ネットニュース等50件を超えるメディアで取り上げられた。(下図)Yahoo!ニュース 2022年10月20日掲載

✓ 内容 学生が試行錯誤しながらポッサムキムチ等を開発・企画し、商品化を目指します。

01 商品コンセプトの企画立案

02 試作及び商品企画のブラッシュアップ

03 試作品の改良、
連携先(ローソン、中日本フード)への再提案04 製造等の引継ぎ、
商品規格(配合・工程、パッケージ、価格設定)の確定

05 商品化、テスト製造

06 オリジナル POP、ポスター等の制作

07 新商品のテスト販売、お客様へのアンケート調査

08 SNS への記事投稿、プレリリースによる広報

09 連携先に店舗での本販売

10 成果を学内プレゼンテーション(卒業研究発表会)

✓ 成果

学修の成果 |

担当学生は商品企画を連携企業に提案し、試作を繰り返して、お客様満足度が高い新商品の開発に成功した。また、お客様アンケート調査結果でも高い評価が得られたことから、やりがいを感じ、自己肯定感の向上にも繋がった。

学生へのフィードバック |

連携先の担当者に企画段階～商品かに至るまで指導していただいた。商品コンセプトに価値があるか、その価値を実現した商品か、商品の良さが伝わるパッケージか、POP等の販促物が適切か等々、学生が諦めずに考え抜きやり遂げたことを高く評価していた。

自治体との連携による公共経営に関するPBL型授業の実施

概要

学部 学科 コース | 経営学部 経営学科 公共政策コース

授業名 | 公共経営論Ⅱ

担当教員 | 大島 博文

人数 | 38名

学年 | 2年生のみ

学外連携学修の目的・目標

公共経営の三大要素である「行政運営」「エリアマネジメント」「協働」について学び、自治体に対して改善・改革に向けて提案する実施力を養う。

目標を達成するための事前・事後学修

事前 自治体における行政運営、エリアマネジメント、協働の取り組みを学ぶ。

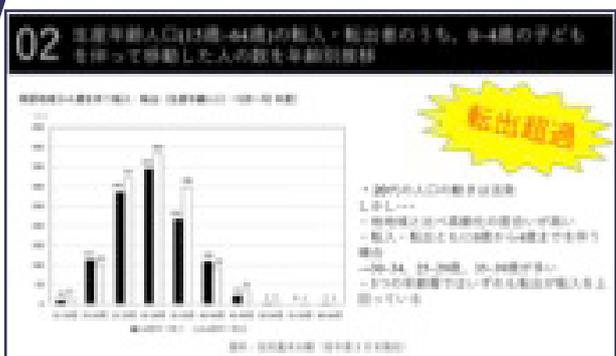
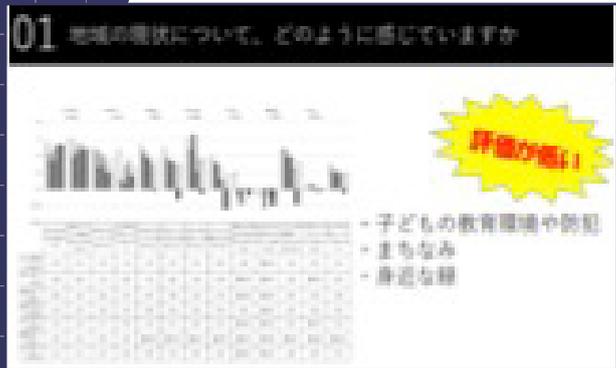
事後 ケーススタディとした地域だけでなく、他地域の適用について検討・学修する。

資料 学生による政策提案

ファミリー世帯の流出が課題となっている豊中市南部（庄内地区）において、地域への愛着を深めるイベントやショップづくり等を進めてファミリー層への定着を図る取り組みを提案した。

内容

- 01 豊中市職員による特別講義（行政マネジメントの実施）
- 02 豊中市職員による特別講義（エリアマネジメントの実施）
- 03 豊中市職員による特別講義（市民との協働の実施）
- 04 グループでの企画書のディスカッション・ワーク
- 05 企画書の学内プレゼンテーション
- 06 企画の再検討
- 07 豊中市へのプレゼンテーション



成果

学修の成果

豊中市の特定地域についてエリアマネジメントの観点による課題解決や地域活性化の政策について具体的に検討する機会となり、分析力・提案力の向上につながった。

学生へのフィードバック

政策提案に関するグループワーク、発表会を実施し、豊中市幹部職員3名に対してプレゼンテーションを行い、それぞれの内容に対して、これからのファミリー層となる学生による貴重な意見をもらい、政策に結びつけるよい機会となったという評価・コメントをいただいた。

摂津市広報紙記事「消防・救急活動」作成を通じた若い世代啓発活動



✓ 概要

学部 学科 コース | 経営学部 経営学科 公共政策コース

授業名 | 専門演習 4

担当教員 | 大島 博文

人数 | 10名

学年 | 3年生のみ

学外連携学修の目的・目標 |

自治体が活動する上で、さまざまな世代に対策や事業を理解・協力してもらうことが不可欠である。その重要な手段である市広報紙を活用して、大学生など若い世代にも消防や救急活動への理解を増進し、協力を促進するための取り組みを行った。記事の企画・組織内での調整、消防や救急職員へのインタビュー等の取材、記事内容やレイアウト等の作業、最終記事案の市長への報告などを通じて、政策や事業案の作成や調整、提案などの実践力を養成した。

目標を達成するための事前・事後学修 |

事前 広報紙など自治体業務に関する専門知識を事前学習する。

事後 ケーススタディとした地域だけでなく、他地域の適用について検討・学修する。



✓ 内容

01 自治体等の事前学修

02 広報紙作成に関する学修

03 インタビューなど取材活動

04 記事案の作成

05 記事案の市長への報告

06 市長、職員等からの評価・コメント

✓ 成果

学修の成果 |

自治体における主力業務である広報紙作成を通じて、政策や事業の企画・立案、組織内調整、取材や記事作成等の実践力の修得につながった。

学生へのフィードバック |

摂津市長への記事作成報告会を行い、市長および消防庁から記事内容の評価・コメントをいただき、教員による総括コメントも行い、学生へのフィードバックを行った。

ウォーキングフットボールの普及策



✓ 概要

学部 学科 コース | 経済学部 スポーツマネジメント学科

授業名 | スポーツビジネス体験

担当教員 | 小島、菅、村田、植田

人数 | 13名

学年 | 1~3年生

学外連携学修の目的・目標 |

プロスポーツクラブや行政と連携した体験会の運営実習を通じて、ウォーキングフットボールの魅力や意義、ターゲット層、PR方法、体験会や大会の実施体制、指導者育成などその普及策を立案する。

目標を達成するための事前・事後学修 |

事前 ウォーキングフットボールに関する学習、実習準備のためのグループワーク

事後 課題解決方法の提案発表 及び レポート提出

✓ 資料

10/16 大阪狭山市の総合型地域スポーツクラブのイベントとしてウォーキングフットボールの体験会を実施し、学生が運営スタッフとして参加。10/30 岸和田市のお祭りに設けられたウォーキングフットボール体験ブースの運営中に参加。12/24 セレッソフットサルパークにて、学生企画イベントを実施・運営。

✓ 内容

01 第1回 10月3日 | 講義

02 第2,3回 10月16日 | 実習(大阪狭山市)

03 第4回 10月24日 | 講義、グループワーク

04 第5,6,7回 10月30日 | 実習(岸和田市)

05 第8回 10月31日 | グループワーク

06 第9回 11月7日 | グループワーク

07 第10回 11月14日 | グループワーク

08 第11回 11月21日 | グループワーク

09 第12回 12月5日 | グループワーク

10 第13回 12月12日 | 発表会

11 12月24日 | イベントの企画・運営

12 第14回 1月23日 | まとめ

PBL 成果発表会〈班 / 企画名〉 |

A「新・スタジアムの発展」 B「セレッソ大阪プレゼン ウォーキングフットボール大会」 C「親子参加を増やそう!!!」

D「長生きのためにウォーキングフットボールでヘルスケア!」 → 企画を連携先に共有したところ、Dと類似した事業を偶然検討中とのこと

✓ 成果

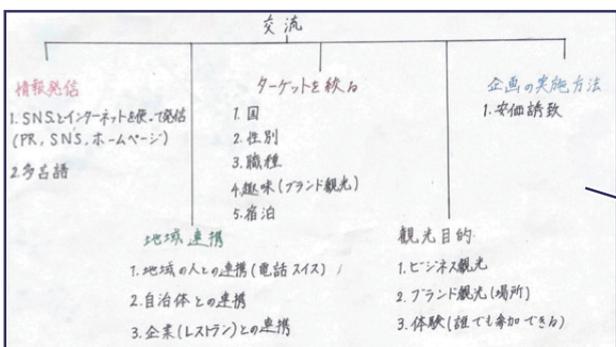
学修の成果 |

プロスポーツビジネスの社会貢献の実態を現場にて学び、スポーツビジネスに必要なスキルの確認がなされた。また、企画立案を目的としたPBL形式を採ったため、常に課題点をもって実習を遂行し、現場を観察することができ、今後の学習に重要な視点が得られた。

学生へのフィードバック |

実習中には、セレッソ大阪、大阪府の各スタッフの方々により体験会運営に係る指導等をいただいた。実習の報告課題に対して、教員からフィードバックを実施し、学生それぞれの視点で考えたことに対して、解説・補足を加え、より適切な現場の理解を促進した。

三田市観光協会連携授業『Research & Presentation 2』



✓ 概要

学部 学科 コース | 経営学部 国際観光ビジネス学科

授業名 | Research & Presentation 2

担当教員 | デイヴァイス 恵美

人数 | 13名

学年 | 3年生・4年生

学外連携学修の目的・目標 |

三田市のインバウンド観光を活性化するというフレームワークにおいて、学生が自ら主体的に学ぶ機会を提示し、リサーチ力、分析力、提案力などのスキルを獲得・習得させる。三田市観光協会との連携のもと、「三田市の魅力」を発信するための情報整理と企画を具体的に提案し、実績とすること。

目標を達成するための事前・事後学修 |

事前 インバウンド観光についての資料を読み込み、企画の際のバックボーンとする

事後 一連の学習についてポートフォリオ化し、振り返り学習を行う

✓ 資料

KJ法によるインバウンド観光成功のポイントの抽出作。

KJ法によるインバウンド観光成功。

KJ法とは、断片的な情報・アイデアを効率的に整理する目的で用いられる手法。一般的に、KJ法では、カード状の紙(付箋)1つ1つの情報を記し、そのカードを並べ変えたりグルーピング(グループ化)したりすることで、情報を整理する。

✓ 内容

01 最終成果物について説明し、イメージの共有

02 インバウンド観光について文献を読む

03 それぞれの視点から学び取ったことをクラス内プレゼンをし、アイデアの共有をしながら理解を進める

04 三田市観光協会へ提案する内容についてブレインストーム

05 グループで企画の絞込み

06 企画案の学内プレゼンテーション

07 企画の再検討

08 学内での企画のプレゼンテーション

09 三田市へ企画のプレゼンテーション

10 三田市と共同し、今後成果物をどのように現場で利用するのかについて検討する

✓ 成果

学修の成果 |

プレゼンテーション資料、リフレクションシート

学生へのフィードバック |

プレゼンテーションの講評、ピアコメント、リフレクションへの個別のフィードバック

小学生高学年や高齢者が楽しみながら学べ、
繰り返し使える SDGs 学習教材とその教材の宣伝 / プロモーションを考える

大阪成蹊大学芸術学部

大阪市東成区との連携
地域連携PBL

26班

川野はるか / 佐藤銀 / 中谷美紀 / 冷水裕那 / 村上琴音

取り上げる社会課題 | コンセプト | 実践していること | 教材の種類 | まとめ

社会問題・関連するSDGs

食品ロス

1年間で約612万トン廃棄している
※日本人1人あたり、約8割1割分の食品が廃棄されている

家庭から出る食品ごみやフードロス、再利用についての学習

学習したのち家庭のゴミを減らすことに繋がる

東成区は大阪成蹊大学と連携し、大学生が高齢者に
食品ロス対策を教える料理教室を開催

食品ロスについての講義を開き、教材のまな板を使用して、参加者で料理をする。

東成区と大阪成蹊大学芸術学部の地域連携型 PBL 授業で「東成区内で SDGs に対する認識の低い高齢者が楽しく学べ、繰り返し使える SDGs 学習教材とその教材のプロモーション」という課題のもと、同大学芸術学部 3 年生 195 名からの 39 名を区長を含めた審議員が選んだ本企画が実現します。SDGs を深く知らない高齢者のために、東成区の特産品であるうりを含めた野菜の無駄のない切り方を記載したまな板を教材から制作しました。東成区老人福祉センターで 2023 年 8 月 10 日に、まな板とフードロス対策を考慮されたレシピの教材を使用したフードロス対策 SDGs を学ぶ、料理教室を開催します。



内容…フードロス対策レシピ 10 種 + 野菜の切り方
サイズ…A4

概要

学部 学科 コース | 芸術学部 造形芸術学科 全コース

授業名 | 地域連携 PBL

担当教員 | 門脇、福本、熊倉、辰巳、神瀬

人数 | 186 名

学年 | 3 年生のみ

学外連携学修の目的・目標 |

- ・SDGs を各地域に浸透させるとともに、実生活の中で実践できるようにする。
- ・小学生が将来持続可能な社会の創り手となる。
- ・小学生など、子供をターゲットにしたデザインを考え、学ぶことができる。

目標を達成するための事前・事後学修 |

- 事前 ① SDGs の理解と行政との連携事例研究 ② 東成区の現状分析
- 事後 ① 成果発表の振り返り ② 企画案に基づく成果物の完成と納品

資料

「東成区内で SDGs に対する認識の低い高齢者が楽しみながら学べ、繰り返し使える SDGs 学習教材とその教材の宣伝 / プロモーション」についての企画案一部。

内容

社会で実践する力、協働できる力を養い、学生から社会人に意識改革を図り、社会人としての身につける。行政が提供する課題に受講者全体が取り組む課題解決型学習。PBL に取り組むことで、調査・分析方法・課題解決方法・マネジメント・チームワーク・コミュニケーション・プレゼンテーションなどを能動的に学ぶ。芸術学部の専門性に特化した PBL (Problem-based learning)、企画を現実させるための資金獲得 (クラウドファンディング) 実践方法など、専門知識を応用し、課題に活かすことで、知識を定着させる。

成果

学修の成果 |

学習活動を通し、学生は学習方法・分析方法・課題解決・プレゼンテーションなど、社会人として必要なコンピテンシーを能動的に身につける。

学生へのフィードバック |

- ミニツッパーパー提出：毎回の授業時の振り返りレポート
- フィードバックシート提出 (個人評価)：グループメンバーに対するコメントを記述する。
- 課題発見シート提出 (個人評価)：問題点を洗い出し、解決の目標を決める。



ちよと世界救おの。

ちよと世界救おの。

真庭市産木材を用いた椅子のデザイン開発



✓ 概要

学部 学科 コース | 芸術学部 造形芸術学科 (コース共通)

授業名 | プロジェクト演習

担当教員 | 山中 コ〜ジ

人数 | 20名

学年 | 2年生・3年生

学外連携学修の目的・目標 |

素材は真庭市で採取された「木」を用いて行い、街の人々に親しまれる椅子をデザインします。また、デザインするにあたり真庭市についてリサーチを行い、それぞれに街に活用される椅子を念頭にデザイン検討をします。

目標を達成するための事前・事後学修 |

事前 真庭市の林業について 世界の椅子デザインについて

事後 成果物を元にした振り返り授業とギャラリー展示

✓ 資料 学生による政策提案

学生がデザイン及び設計を行った家具が真庭市の工房にて実物の家具となって制作され、大阪市内のギャラリー展示及び真庭市役所の展示されることとなった。

✓ 内容

01 真庭市についてのプロジェクト説明

02 「真庭市の林業について」、
「世界の椅子デザインについて」リサーチ

03 椅子の検討

04 真庭市担当者及び市役所職員を含めたプレゼンテーション

05 決定されたデザインの図面化

06 椅子の作成

07 大阪市内のギャラリー展示及び真庭市役所の展示

✓ 成果

学修の成果 |

真庭産木材を用いた家具のデザインを行う。プレゼンパネルの制作、CG、模型制作。選ばれた学生作品の実物制作を行う。

学生へのフィードバック |

中間プレゼン、期末プレゼンの2度にわたりプレゼンを行い、その都度、真庭市より担当者が講評を行うなどを通して学生に対して、様々な意見を聞かせる。

島本町 Buy Local Map & 商品デザイン提案



株式会社 長井工務店

一級建築施工管理技士
二級建築士

代表取締役

長井 正広

事務所
〒618-0011 大阪府三島郡島本町広瀬 2-1-35
TEL (075) 962-0304
FAX (075) 962-5252
E-mail: info@nagai-komuten.co.jp
http://www.nagai-komuten.co.jp
H.P. 090-1243-4755



まもりつなぐ。
大阪の古民家。

概要

学部 学科 コース | 芸術学部 造形芸術学科 ビジュアルデザインコース

授業名 | プロジェクト演習 2・4

担当教員 | 桐原 一史

人数 | 40名

学年 | 2年生・3年生

学外連携学修の目的・目標

PBL 課題解決型授業として、クライアントが提供する課題に全受講者が取り組み、学習活動から学修手法、分析手法、課題解決法、マネジメント、チームワーク、コミュニケーション、プレゼンテーションなどキャリアに必要なコンピテンシーを能動的に学びます、グループワークをベースに、チームワーク（協働）のもと受講者の自主性・自律性の向上につながることを期待します。

目標を達成するための事前・事後学修

事前

連携先事業情報、必要関連情報などについての調査・分析を行い、プロジェクトのための諸準備を行う

事後

提供及び採用されたデザイン成果物（デザインデータ）などについてのフォローアップを行う

内容

島本町を PR するためのプロモーションアイテムの提案を行う、島本町が抱える課題・問題に対して、ビジュアルコミュニケーションデザインによる提案を行い、ソリューションに導く。授業は 1 グループ 3~4 名体制で全 10 グループ程度の構成によるアクティブラーニング（対面とオンデマンドのハイブリッド授業）を実施する予定。クライアントからは、街の概要説明と課題提供をいただき、途中、中間アイデア確認会を計画する。第 13 回で最終提案発表会へ参加いただき、講評をいただく予定。効率的な提案につながるよう、ターゲットを絞り込んだ上で学生目線での斬新なデザインが期待される。

課題内容（島本町提供）

グループ提案課題：「島本町バイローカルマップ」

個人提案課題：「島本町のお土産開発とデザインリニューアル」

成果

学修の成果

最優秀グループの Buy Local Map は、実際用が決まり、実際に島本町商工会がデザインデータをもとに印刷を行い、島本町内外の各要所に置かれ、島本町内の店舗などのプロモーション活動に活用される。また、個々の商品デザインも、各事業所に今後製品化・商品化が予定されることになった。

学生へのフィードバック

授業最終日に、島本町からそれぞれの提案内容について総評をいただき、優秀な提案を行ったグループには表彰が行われた。

プロジェクト演習 2・4 『アートプロデュース』

✓ 概要

学部 学科 コース | 芸術学部 造形芸術学科
バーチャルメディア・ボイスクリエイターコース

授業名 | プロジェクト演習 2・4

担当教員 | 辰巳 清

人数 | 21名

学年 | 2~4年生

学外連携学修の目的・目標 |

学外団体から与えられる課題を解決していくことを目的とした PBL(Project Based Learning) 型の授業です。情報収集、問題発見、課題解決について。チームの学修を通じて学びます。学生自らクリスマスの時期のイベントの企画から実施まで行うことで、アートプロデュースを実践的に理解することを目的とします。

目標を達成するための事前・事後学修 |

事前 教員自らが参加してきたコンサートや美術展を題材として、文化イベントに関する基礎知識を体系的に学びます。

事後 更に身に付けた知識を土台として学外連携団体の課題に向き合うイベントを企画することで、企画立案やコンテンツ開発、プレゼンテーション、チームの一員としての貢献、宣伝販促など、様々な社会活動に応用できるプロジェクト・マネジメント力を獲得します。



✓ 資料

全 14 回の授業のうち、第 1~3 回をイベントに関する基礎知識の習得に充てる。第 4 回で連携先の代表を本学に迎えて企画するイベントへの課題を提供してもらい、第 5 回でイベント会場となる連携先並び周辺を見学。第 6~10 回でイベントの企画、制作、宣伝、販促を行い、第 11 回の授業でイベント本番を迎える。第 12~14 回はイベント参加者アンケートやステークホルダーインタビューからイベントの評価分析を行い、連携先から評価をいただく。

本授業は大阪関西国際芸術祭(2023 年 1~2 月)のメインアーティストでもある釜ヶ崎芸術大学というアーティスト集団との連携授業であった。第 4 回授業で示された「釜ヶ崎芸術大学の活動と釜ヶ崎に関する紹介動画を、アート的手法で制作して上映イベントを行う」との課題に対して、7人3組で3つの映像作品を制作して、第 11 回目の授業で釜ヶ崎芸術大学を会場とした上映イベントを実施した。3グループはそれぞれ 2ヶ月以上、西成区釜ヶ崎エリアでの現地調査を重ねて、関心を持った対象をイラスト、マンガ、キャラクター制作のメイキング動画などの手法で作品化して、1 班あたり 5 分程度の動画として上映会を行った。来場者数は会場収容定員である 40 名、アンケートやインタビューのために youtube に限定公開した動画作品の視聴者数は約 150 名であった。なお、第 1~3 回の授業では(一社)日本イベントの産業振興協会がイベント検定試験に合格できる水準の知識習得を目標にしていたが、授業内での模擬試験では 21 名が合格水準を超え、任意であった資格合格には 1/3 にあたる 7 名が合格した。

✓ 成果

学修の成果 |

イベント全体に関しては連携先から「終わってしまうのが寂しい」「名残惜しい」と高く評価するコメントをいただいた。地域に入り込む調査を2ヶ月行ったことから、1日だけの上映会ではなく、連携先一定期間に渡って関係を深めるイベントにできたことが高評価につながったと考える。

学生へのフィードバック |

釜ヶ崎芸術大学のメンバー 8 名から講評のみならず、来場していた NHK の番組ディレクターや映像作家など計 18 名の芸術に関わるプロから学生に講評をいただいた。また、学生自らが動画視聴を募り、約 150 名から得たコメントをグループごとに分析して、第 14 回授業で報告した。

popteen発のアイドル PureGiの衣装制作



✓ 概要

学部 学科 コース | 芸術学部 造形芸術学科
テキスタイルファッションコース

授業名 | 専門展開演習7

担当教員 | 川上 須賀代

人数 | 9名

学年 | 3年生のみ

学外連携学修の目的・目標 |

株式会社 VINE YARD より課題「楽曲からイメージした衣装制作」を解決。実践的な産官学連携を通してコスチュームデザインに必要な発想力、表現力、プレゼンテーションの技術を総合的に習得する。

目標を達成するための事前・事後学修 |

事前 国内外のアイドル調査、舞台映える衣装調査、素材開発研究

事後 衣装制作における振り返りレポート

✓ 資料

「国内外のアイドルグループ調査・分析を行い、楽曲から考える「アイドル衣装デザイン制作」を目的とした提案をおこなった。2022年10月7日の遠隔で株式会社 VINE YARD 代表、雑誌ポップティーン編集長、マネージャーに向けての衣装デザイン提案。同月13日に遠隔にてデザイン修正のプレゼンを行った。2022年11月6日に東京都中央区銀座の事務所に学生と出向き、仮縫いフィッティングを実施。当事者からは、ポップティーンモデルということもあり、見た目に美しいシルエットについての課題をいただいた。チームで課題解決に向けて、シルエットの調整・分析を行い、2022年12月の最終ミーティングでは高い評価を得た。2023年1月27日に無事に納品し、2月上旬にジャケット撮影を予定している。

✓ 内容

01 課題の発表

02 アイドルグループの調査と分析

03 各自コスチュームデザインの発送

04 教員とグループでデザインの絞り込み

05 デザイン提案、再検討、学内中間発表

06 デザイン決定

07 制作に向けて採寸、パターン製図

08 仮縫い作業、フィッティング、フィッティング後の修正

09 本縫、装飾の制作

10 最終調整を行い、納品

✓ 成果

学修の成果 |

国内外のアイドルグループの調査・分析、素材研究を行い、当事者に対して課題解決のためのデザイン提案から衣装制作を行った。アイドルメンバー、代表や編集長からもシルエットバランスの改善などの提案に高い評価を得た。

学生へのフィードバック |

中間発表、仮縫いフィッティングの際に編集長から作品に対する講評、アイドルグループからのデザイン、素材使用に対する質問など。

川西市の水（災害用備蓄水）デザイン



✓ 概要

学部 学科 コース | 芸術学部 造形芸術学科 ビジュアルデザインコース

授業名 | 課外授業

担当教員 | 桐原 一史

人数 | 20名

学年 | 2年生・3年生

学外連携学修の目的・目標 |

川西市市役所上下水道局からの製品デザインの以来に基づいて、本学部のビジュアルデザインコースの学生にデザイン公募の実施。デザインに取り掛かる上で事前の調査・分析を行い、製品について知識を蓄えて提案制作を行う。デザインコンペティションに参加することで、積極的に社会との結びつきを深める。良いデザインの早出しはもちろんのこと、製品ブランドデザインの要点やグラビア印刷について技術的スキルなど身につけることも目標とする。

目標を達成するための事前・事後学修 |

事前 川西市、並びに川西市の水道水や備蓄水に関する調査・分析を実施

事後 成果物のポートフォリオ化を行い、先々の就職活動に活かす

✓ 内容

- 01 課題・事前情報のインプット
- 02 川西市、並びに川西市の水道水や備蓄水に関する調査・分析を実施
- 03 デザインイメージアイデアの創出
- 04 製品ブランド名のアイデアの創出
- 05 デザインアイデアの精査
(教員のアドバイスのもと、フラッシュアップ)
- 06 製品ブランド名の精査
(教員のアドバイスのもと、フラッシュアップ)
- 07 デザイン案の提出(複数案)
- 08 デザイン案第一次審査
- 09 デザイン案第二次審査
- 10 デザイン案最終審査 & デザイン決定

✓ 成果

学修の成果 |

採用されたデザインによる実製品(備蓄水)
最優秀デザイン賞、優秀デザイン賞、優秀ネーミング賞の各受賞成果

学生へのフィードバック |

市役所にて授賞式を開催。市長、上下水道局以下から総評をいただく。担当教員より、公募参加者全員にデザイン結果のフィードバックを行う。

2022年度 学外連携学修 計画一覧(大学)

学部・学科・コース

タイトル・期・科目名・連携先

経営学部 経営コース	企業との連携によるマーケティング・リサーチ・プロジェクト	前期 後期	専門演習1・2	関西Bリーグクラブ(滋賀レイクスターズ、大阪エヴェッサ、西宮ストークス、バンビシャス奈良)
	企業連携による問題解決学修	前期 後期	専門演習1・2	大阪モノレール(株)
経営学部 食ビジネスコース	ヤンマー HD との PBL 『大阪農業をもっと元気にしよう!』	前期	食ビジネス入門	ヤンマーホールディングス(株)
	日本ハム G 他との PBL 『オリジナル弁当を開発・販売しよう!』	前期	専門演習1【食】	日本ハムグループ(中日本フード(株))、佐竹食品(株)
	大阪府中央卸売市場他 『青果売場を企画してみよう!』	後期	専門演習2【食】	大阪府中央卸売市場、林田商店
	日本ハムとの PBL 『次世代の新商品企画を提案しよう!』	後期	食品計画実践	日本ハム株式会社 加工事業本部 マーケティング推進部
	産官学連携による大阪産(もん)農 林水産物を活用した商品開発	前期 後期	専門演習3・4・5・6【食】	大阪府、(株)ローソン、 中日本フード(株)他
経営学部 公共政策コース	自治体、企業との連携による地域 経営に関するPBL型授業の実施	前期	地域経営入門	川西市 他
	自治体との連携による公共経営 に関するPBL型授業の実施	前期	公共経営論Ⅱ	豊中市役所創造改革課、経営企画課、 コミュニティ政策課
	行政企画(市町村の都市開発)に ついて学ぶ	後期	公共経営論Ⅰ	茨木市
	JR吹田駅前におけるフィードワー クによるPBL学修	後期	公共政策フィードワークⅠ	NPO法人 JR吹田駅周辺まちづくり協議会、 吹田市
	シニアの居場所とつながりに関す るPBL学修	後期	地域協働論	吹田市、東淀川区社会福祉協議会
	スモークフリーシティの実現に向 けて	後期	自治体経営論	豊中市、吹田市
	東淀川区社協との住民アンケート の共同実施	前期	公共政策フィードワークⅡ	大阪市東淀川区社会福祉協議会、 北部地域包括支援センター
	自治体との連携による地域経営 に関するPBL型授業の実施	前期	専門演習3【公共】	摂津市
	摂津市広報記事「消防・救急活動」 作成を通じた若い世代への啓発活動	後期	専門演習4【公共】	摂津市
	スポーツ マネジメント学科	ラグビー(花園近鉄ライナーズ)の 集客等課題解決	後期 集中	スポーツビジネス体験
大阪エヴェッサの集客等課題解決		後期 集中	スポーツビジネス体験	ヒューマンプランニング(株)大阪エヴェッサ
ウォーキングフットボールの普及策		後期 集中	スポーツビジネス体験	(株)大阪セレッソ、大阪府スポーツ振興課
ラウンドワン スポッチャの活用		後期	専門演習4	ラウンドワン
国際観光学科	高槻市との地域観光に関する産 官学連携	後期	専門演習2	JTB、高槻市
	日本企業製品の国際ビジネス展 開の事例学習	後期	専門演習2	(有)ミドルイーストアソシエーツリミテッド
	民間企業における国際ビジネス展 開の事例学習	後期	専門演習2	愛知(株)

経営学部

国際観光学部

2022年度 学外連携学修 計画一覧(大学)

学部・学科・コース

タイトル・期・科目名・連携先

国際観光学部

経営学部・国際観光学部

芸術学部

国際観光学科	三田市観光協会連携授業 Research & Presentation1	前期	Research & Presentation1	兵庫県三田市観光協会
	三田市観光協会連携授業 Research & Presentation2	後期	Research & Presentation2	兵庫県三田市観光協会
学部共通	セレッソ大阪の新たな社会連携活動(シャレン!)の企画考案	前期	学外連携 PBL	(株)セレッソ大阪
	新たな販路拡大施策の提案	前期	学外連携 PBL	オリックス野球クラブ(株)
	新たな販路拡大施策の提案	前期	学外連携 PBL	(株)Dreams
	京都歴史館 知名度アップ等に係るイベント等企画	前期	学外連携 PBL	(株)コングレ 施設・人材サービス事業本部
	地方自治体の課題解決、地域活性化の提案	後期	地域連携 PBL	摂津市
	高齢者のデジタル機器(スマホ等)の利活用促進	後期	地域連携 PBL	茨木市
	東淀川のまちづくり	後期	地域連携 PBL	東淀川区
学部共通	FM802におけるアート・芸術の活用法を提案する	前期 集中	学外連携 PBL	(株)802メディアワークス
	小学生高学年や高齢者が楽しみながら学べるSDGs学習教材を考える	後期 集中	地域連携 PBL / キャリアデザイン3	東成区役所
学部共通 (ファッション・ コスチュームデザインコース)	吹田市キャラクターのコスチュームデザイン	前期	プロジェクト演習1・3	大阪府吹田市
学部共通 (インテリア・ プロダクトデザインコース)	真庭市産木材を用いた椅子のデザイン開発	前期 後期	プロジェクト演習1・3	glitch,Inc
学部共通 (マンガ・デジタルアートコース)	摂津市 LINE STAMP 制作	前期	プロジェクト演習1・3	大阪府摂津市広報課
学部共通 (アニメーション・ キャラクターデザインコース)	摂津市役所とのコラボレーショングッズ制作	前期	プロジェクト演習1・3	大阪府摂津市広報課
学部共通 (ビジュアルデザインコース)	島本町 Buy Local Map & 商品デザイン提案	後期	プロジェクト演習2・4	大阪府島本郡島本町
学部共通 (バーチャルメディア・ ポスター/ライターコース)	アートプロデュース	後期	プロジェクト演習2・4	特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋(釜ヶ崎芸術大学)
学部共通 (ファッション・ コスチュームデザインコース)	株式会社hachi アップサイクル商品の企画・提案	後期	プロジェクト演習2・4	(株)hachi
造形芸術学科 インテリア・ プロダクトデザインコース	綿半ホームエイドでのPB商品の製品化・販売に向けた商品提案	後期	造形芸術専門基幹演習5	綿半パートナーズ(株)
造形芸術学科 ファッション・ コスチュームデザインコース	popteen発のアイドル PureGiの衣装制作	後期	造形芸術専門展開演習t	(株)VINE YARD
造形芸術学科 イラストレーション・美術コース	「UNKNOWN ASIA」~大阪からアジアへ ~アートフェア学生参加プロジェクト	後期	造形芸術専門展開演習5	(株)FM802
造形芸術学科 ゲーム・ アプリケーションコース	ゲーム分野で活躍するクリエイターと 連携してのゲーム制作	前期 後期	課外授業	ファーレンハイト 213(株)
造形芸術学科 ビジュアルデザインコース	川西市の水(災害用備蓄水)デザイン	前期	課外授業	兵庫県 川西市役所 水道局